

■目次

●今月のことば	佐々木哲生
●表紙のことば	大橋 功・1
「夏の思い出」	大橋 功・1
●巻頭言	松月 博宣・2
子ども・若者ご縁づくり	松月 博宣・2
●わたしの保育物語	城野奈緒美・4
出会いそして感謝	城野奈緒美・4
●いま、学ぶ、越える	工藤 真帆・6
前を向くために	工藤 真帆・6
●園児向け法話	岡田 晃昭・8
カブトムシのいのち	岡田 晃昭・8
●仏典童話	野呂 昶・10
白い象	野呂 昶・10
●園長のつぶやき	岡島 守男・14
少しの頑張りとおちよつとの我慢	岡島 守男・14
●食育アラカルト・北から南から	浦水 英昭・温水 彩圭・18
遍照幼稚園「後編」	浦水 英昭・温水 彩圭・18
若葉保育園「前編」	須山 恵美・18
●保育者の心に寄り添うカウンセリング	須山 恵美・18
初めて「謝罪」ことのできた	須山 恵美・18
大卒一年目の新任教諭	富田富士也・20
●なぜ？なぜ？先生	富田富士也・20
キミヨームリョージュニョライつて	富田富士也・20
●どんな意味？	富田富士也・20
●仏教讃歌	田村菜々子・23
もうすぐお盆	田村菜々子・23
●「まごとの保育」のすすめ	海谷 則之・26
三つの「いのち」をいただいで	海谷 則之・26
●教区だより	佐々木正利・30
東海教区保育連盟の活動について	佐々木正利・30

「夏の思い出」

河島 柚 (かわしま ゆず) 5歳

アソカ幼稚園
(大阪教区)

●表紙のことば●



おおはし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科

画面には四人の人物が描かれています。右から「僕」「おじいちゃん」「お母さん」「妹」だそうです。それぞれの体の大きさも意識して描いています。夏休みに鯉つりに行ったとき、一度は自分の竿にかかった魚が逃げてしまったのだけれど、おじいちゃんが手伝ってくれて一緒に釣ることができたというのを、絵に描いて伝えてくれました。その手に残る鯉の引きの重みをあらためて感じながら嬉しそうに描きあげたそうです。

この作品の主たる表現はバスによる線描です。針に付けたエサや、一人一人の人物の特徴などを丁寧に描いていますが、今まさに魚がエサを喰おうとしている瞬間は見えなかつたはずで、にもかかわらず、池の中の様子を真に迫る表現で描いています。ゆず君の想像力が水の中の魚の姿にまで及んでいるのでしょう。幼児のリアリズムは、目に見える世界の真実よりもむしろ、心の目で捉え、感じ取った世界の真実を表現するのです。